

【今回の内容について】

2017年9月から Brown University に学部生として留学しております辻琴音です。今回の報告書では、学部1年目の後半に当たる春学期（2月-5月）について報告致します。

【授業】

Brown University では学期が始まってから2週間、Shopping Period という選択科目の試行期間があり、この期間中は正式登録していない科目でも興味のあるコースや教授の授業を受講して、登録科目の変更ができます。一学期に最大5コースしか受講できない中、生徒によっては Shopping Period 中に15コース以上受講してから学期の受講科目を決定する場合があります。授業を実際に受けてみて、そのコースが自分に適切な内容かを直で判断することができるとてもよいシステムだと思います。この期間中、私は事前登録していた科目に加えてフランス語と心理言語学の授業に参加しましたが、スケジュールの関係で今学期は本受講することができませんでした。最終的には以下の4コースを受講することにしました。

- APMA 0330: Methods of Applied Math I + II

二次微分方程式、級数解法、ラプラス変換などを扱う週2時間半の応用数学の授業です。私が今後受講したいと考えている工学の専門科目を受ける前にこの科目が必須とされていたため選択しました。

- BIOL 0200: Foundation of Living Systems

週2時間半のレクチャーと週1時間半の実験で構成された基礎の生物科目です。学期の前半は生態学、後半は神経科学を中心に幅広い分野を扱いました。もともと生物は自分にとって興味深い科目であったため、生物関係の授業を4年ぶりに受けることができとても楽しかったです。また、初めて神経科学の分野に触れることができ、今後も神経科学の授業を受けていきたいと強く感じました。

- **CHEM 0350: Organic Chemistry**

2部で構成されている有機化学の前半部のコースです。高校で勉強していた有機化学に比べて、より細かく化合物の構造、性質、用途について学びました。今までの授業の内でもっとも多くの勉強量が要求されましたがその分達成感が大きかったです。有機化学は化学の中でも一番好きな分野なので来学期の後半部のコースも楽しみです。

- **ENGN 0040: Dynamics and Vibrations**

工学専攻が全員受講する力学の授業です。レクチャーに加えて、ばねロケット、振動隔離システム、ソーラーカー、ドローンなど様々な課題についてチームで構想を練り、プログラミングをする科目でした。レクチャーで学んだ理論を具体的にプロジェクトで実践できたことが感動的でした。

【生活】

学業外の活動として、今学期も小学校の訪問、**Japanese Cultural Association**、食堂でのアルバイトを続けました。また、先学期に比べ今学期は大学で生活する上での時間の取り方を理解してきたため、少し新しいことに挑戦しました。

- **ハーフマラソン**

大学での不健康な食生活が続いていたため定期的な運動が必要だと思い、**Providence**で毎年5月に行われるハーフマラソンを申し込み、レースのトレーニングとして毎週30-50km走ることを13週間続けました。おかしなことに、レースの最中はなぜこんなに辛い思いをしなければいけないのかと申し込んだことを後悔していましたが、完走後は辛い思いを完全に忘れ、次はマラソンに挑戦してみたいと思いました。

- **Samaritans**

Brown Universityのプログラムを通して、自殺防止ホットラインのボランティアを始めました。一ヶ月間のトレーニングを終えた後、電話相談員として毎週4時間程の手伝いを行っています。相談員として活動して、改めて人の話を聞くことがどれだけ重要かを実感しました。

- **Research Assistant**

学期の後半から文化の異なる日米の教育の違いについて研究しているリサーチチームに参加しました。アメリカと日本の小学生に学業に関するインタビューをもとに教育の影響や傾向などを分析しています。私が専攻したいと考えている分野とは完全に別の分野をこのような形で学ぶことができるのも **Brown University** の自由な教育システムの特徴を表していると思います。

- **タイ語**

友人が大学から許可を得て毎週土曜日タイ語教室を開いていたので私もその授業に参加しました。何回か触れただけでは話せるようにはなりません、新しい文化を知るととても良いきっかけとなりました。今後も少しずつでもタイ語を勉強し続けようと思います。

- **ボストン・ニューヨーク**

先学期一回も行くことのできなかつたボストンとニューヨークも今学期は何度か行くことができました。ボストンは電車一本で1時間、ニューヨークはバス一本で3時間ととても交通の便が良いと思います。また、**Brown University** 以外の大学の雰囲気を知ることができたのも楽しかったです。

【学期終了後の流れ】

学期の授業が全て終了した後、二週間弱の期末試験期間に入ります。科目によって試験の日時または有無が変わってくるので、全ての科目の試験が終わった生徒から地元へ帰り少しずつ大学のキャンパスが静かになっていくのが印象的です。また、試験期間終了後には寮から追い出されるので、その前に部屋を空の状態にしなければいけません。私物をまとめて収納業者に運ぶ引越し作業を毎年することは少し大変だと感じました。

【最後に】

今年一年充実した留学生活を送ることができたのは船井情報科学振興財団の支援のおかげだと思い、とても感謝しております。これから徐々に専門的な授業を受けることになると思うので頑張ります。今後ともよろしくお祈りします。